

地域研修

提案単元の実施概要

【熊本県】提案単元の実施概要

実施日 令和元年 9月18日(水)～19日(木) **場所** 熊本県庁(801会議室、防災センター) **参加者** 51名
うち修了者42名

1日目3限目 熊本地震の経験と教訓（オペレーションからの教訓）



講師 熊本県危機管理防災特別顧問 有浦 隆氏 **形式** 座学

- 熊本地震対応の経験から、行政が円滑に対応できたことや課題になったことについて講義した。
- 課題を踏まえた現状の取組みを具体的な事例や防災センター内の実物を示しつつ説明した。
- 本講義は研修会場を防災センターに移動して実施した。

2日目4限目 熊本地震における災害対応（熊本地震クロノロジー）



講師 熊本県防災企画室 黒瀬 琢也氏 **形式** 演習(ゲーム形式)

- 熊本地震における災害対応の変遷を学ぶカードゲーム「CHRONOLOGY」を実施した。ルールは別添参照
- 実際の災害対応の全体がどのように移り変わっていくかを学んだ。
- ゲーム終了後は班内で熊本地震に関する出来事の中で重要だと思った出来事等を意見交換した。

2日目5限目 市町村における災害対策



講師 熊本県危機管理防災課 楠本 義博、大村 克行氏 **形式** 座学+演習

- 令和元年度の出水期における避難勧告発令等の対応について振り返りながら留意事項等について説明した。
- 市町村における災害対策として主に自助・共助の推進の必要性を説明した。
- 最後に、演習で自組織における課題について議論した。

CHRONOLOGY

（熊本地震編）

1 ねらい

熊本地震の主な出来事を把握することで、実際の災害対応の全体がどのように移り変わっていくかを学びます。災害対応の全体の動きを理解しつつ、先読みしながら対応できる力を養います。

2 人数

5人程度

3 準備

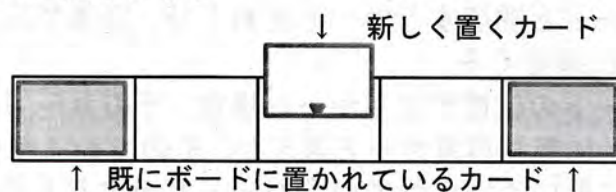
- ① 表に熊本地震関連の主な出来事とその写真（被害状況、災害対策本部運営、救助の様子など）を掲載し、裏にその出来事の日時や説明の記載されたカード（49枚）
- ② そのカードを順番に置くためのボード

4 勝利条件

前後の出来事との関係を見極め、正しい位置に最も多くのカードを置いた者の勝利

5 実施方法

- 1) プレイヤーの中心にボードを置きます。ボードには、あらかじめ、4枚のカード（前震の発生、本震の発生、記録的大雨、県の復旧・復興プランの策定）を置きます。
- 2) 残りのカードは、よく混ぜた後、場に10枚、表面を上にならべ、残りは山札とします。
- 3) どのプレイヤーから実施するか決定します。
- 4) 手番になったプレイヤーは、場のカードから1枚選び、既にボードに置かれているカードを参考に、正しいと考える場所に置きます。その際、既にボードに置かれているカードと区別するため、半分上に置きます。



- 5) 新しく置いたカードの裏面を確認し、前後の2枚のカードとの関係を確認します。
 - ① 新しく置いたカードが前後の2枚のカードの間に置くべきカードだった場合
プレイヤーは1ポイント入手します。その上で、カードの番号（丸数字）を確認し、同じ番号のボードの位置に置いてください。
 - ② 新しく選んだカードが前後の2枚のカードの間に置くべきカードではなかった場合
カードの番号を確認し、同じ番号のボードの位置に置いてください（ポイントなし）。
- 6) 確認後、山札のカードを1枚、場に置き、時計回りにプレイヤーの手番を代わります。
- 7) 全カードをボードに置くまで続け、ポイントの多いプレイヤーが勝利者となります。

6 振り返り

1) 完成した CHRONOLOGY (クロノロジー) を前に、気になるカードを裏返し、その詳細を確認しながら、グループ内で意見交換をしてみましょう。

【意見交換の例】

- ① 熊本地震に関する出来事のうち、改めて重要だと思ったものは何ですか。
- ② 予想よりも特に早かった出来事がありますか。それはどの出来事ですか。
- ③ 予想よりも特に遅かった出来事がありますか。それはどの出来事ですか。
- ④ もっと早く行われると良いと思われる出来事がありますか。そのために必要な準備は何でしょうか。
- ⑤ こういうこともあったのかと、改めて気づいた出来事がありますか。それはどの出来事ですか。

2) 今回作成していただいた CHRONOLOGY (クロノロジー) は、出来事が混在しています。災害対策、被災者、被災施設など、カテゴリーごとに分類してみましょう。そこからどのようなことがみえてきますか。グループで話し合ってみましょう。

【参考：他の実施方法】

CHRONOLOGY (クロノロジー) には、ボードがなくても実施できる方法もあります。

- 1) カードをよく混ぜ、プレイヤーに表面を上にしたまま、1枚ずつ配付する。プレイヤーは自らの前に表面を上にしたままカードを配置する。
- 2) 親は表面を上にして場に10枚並べ、残りのカードは山札とする。
- 3) どのプレイヤーから手番を行うか決める。
- 4) 手番になったプレイヤーは、場に並べられたカードの中から1枚選び、既にそのプレイヤーの前に置かれているカードより早い時期の出来事か遅い時期の出来事か考え、カードの下部にある矢印を参考に、適切な場所にカードを置く。その際、既に手に入れているカードと区別するため、一段上に置く。(時間は左から右に流れているものとする。)
- 5) 新しく置いたカードと関係するカードをめくり、順番が正しいか、全てのプレイヤーに見えるように確認する。
- 6) 新しく置いたカードの位置が正しかった場合、そのカードを入手し、自分の手番を終了するか、4)に戻り再度カード選ぶか、そのプレイヤーは選択することができる。一段上の段に既に手に入れているカードと接するように置ける限り、続けることができる。
- 7) 新しく選んだカードの位置を間違えた場合は、そのカードを場に戻し、そのプレイヤーの手番は終了する。間違えたカードがその手番の時に置いた2枚目以降のカードであった場合には、その手番で置いた全てのカードを場に戻す。
- 8) 場や山札のカードがなくなるか、テーブルにクロノロジーを一行で並べることができなくなるまで続け、最も長いクロノロジー(流れ)を作ったプレイヤーが勝利となる。